上海事務所

# NCB 海外レポート

## 中国ビジネス最新事情 ②

## ～中国のペット市場最前線～

### ◇ はじめに

・ 中国では、都市部の若年層や高所得者層を中心に、ペットの飼育者が増加しています。今回は拡大を続ける中国のペット市場の最前線についてお伝えします。

### ◇ ペット市場について

・ 2023 年時点で中国のペットは犬 5,175 万頭、猫 6,980 万頭で日本（犬 684 万頭、猫 907 万頭）の 7 倍以上となっています。

・ 中国の調査会社 iiMediaResearch によると、2023 年の中国のペット市場規模は 5,928 億元（約 12 兆円）であり、2028 年までに 1 兆 1,500 億元（24 兆円）に達すると予想しています。年平均 10%以上で成長しており、今後もペット市場は拡大が見込まれています。

iiMediaResearch の発表をもとに当事務所が作成。

・ 同調査会社の報告によると、飼育者のペット用品における機能性や品質に対する関心は高まっており、ペット用のスマート家電や健康食品が市場のトレンドになっています。実際、中国の EC サイトではペット用のスマート給餌機やサプリメントなどが多く販売されています。また PETKIT や CATLINK など中国メーカーのペット用スマート家電は世界中で販売されています。

上海で行われたペット博覧会の様子。

・ 最近、中国ではペットの気持ちを飼育者に伝える「アニマルコミュニケーション」というサービスが SNS で話題になっています。メッセージングアプリなどを介して診断士にペットの情報や写真などを送ることで、ペットの嗜好、行動、感情についてフィードバックがあります。ペットの気持ちを理解したいという飼育者のニーズを捉え、大変人気がありますが、一方で診断士には明確な法律上の定義や規制がないため、詐欺などに対し注意喚起がなされています。

### ◇ 課題・問題点

・ また飼育数が増加するにつれ、ペットの遺棄も問題になっています。中国ペット産業白書によると 2021 年の野良犬は 4,000 万頭にのぼるとされ、野良犬が人間を襲うなど、当地でニュースになっています。

・ 加えて中国では日本のようにペットを保護する動物愛護法は制定されておらず、虐待などの事件が一部で起こっています。

・ 現在では、中国国内での動物愛護法の制定を求める声の高まりを受け、一部の都市では動物の遺棄に対し罰金を科す条例が制定されるなど、ペットを取巻く環境は改善されつつあるようです。

### ◇ まとめ

・ 中国のペット市場では商品やサービスの多様化が進んでおり、また品質レベルも高まっていることから、今後は中国国内で競争力を高めた中国企業が世界へ展開するなど、ペット市場の競争は激しくなることが予想されます。

・ このような中国企業の動きに対し、日本企業はより一層マーケティングやブランディング等が重要になってくるものと考えられます。今後は、中国企業をパートナーとして提携を行うなど、機動性を高めるための柔軟な戦略が必要になるかもしれません。

2024 年 10 月 15 日作成

西日本シティ銀行　上海駐在員事務所